一般社団法人　静岡県安全運転管理協会

“わが社の安全マインドづくり”

２月 20 日(月)、清水地区協会の小野事務局長とともに平成 28 年度安全運転管理推進事業所の

「清水運送株式会社」

を訪れました。

当日は、同社の鈴木髙行社長にお出迎えいただき、取材では安全運転管理者の渡辺久訓危機管理部部長と副安全運転管理者の中田吉彦総務課長のお二人から事業所概要とともに推進事業所活動の取り組みについてお聞きしました。

同社は、運送事業を柱とし多岐にわたる事業展開を行っていることから、交通安全をはじめ各種業務に関わる事故の絶無を期し、

「無事故・無災害による安全な職場づくり」

を目指しています。

推進事業所活動の基本について、渡辺部長から

「本年度、推進事業所に指定されましたが、指定により新たな対策に取り組むということではなく、従来から地道に行ってきた対策等を継続して取り組んでいこうと活動しています。」

とのお話しがありました。

【主な推進事業所活動】

○　安全運転管理

○　月１回の「各部安全会議」を開催
○　社有トラック全車(約 70 台)にドライブレコーダーを装着
○　業務車両利用職員に対するアルコールチェックの実施
○　マイカー通勤者管理(運転免許証・自動車任意保険加入の確認)

など

○　教育・啓蒙活動

○　「ヒヤリハット委員会」による“ＫＹＴ”の実施
○　「安全大会」における諸活動
- 優良ドライバー表彰制度(無事故・無違反証明書を活用し、５年毎の優良ドライバーを表彰)
- 事故(交通・貨物)事例の発表と検討
- 高速道路交通警察隊、清水警察署交通担当者を講師とした安全講話の実施

など

【今後の目標・方針】

安全運転管理推進事業所として活動した結果、交通事故を見る目が厳しくなってきたことを実感しています。

今後も「安全は全てに優先する」「安全なくして会社なし」をテーマに、交通事故ゼロを目指していきたいと思っています。

詳細記事は「安全運転管理しずおか」4月号に掲載

今回の取材でお聞きした安全運転管理の諸対策・諸活動の詳細につきましては、機関誌「安全運転管理しずおか」４月号の誌面にて掲載する予定でおりますのでお待ち下さい。